

平新報

發行日 五月八日
總編輯 山野澄吉
發行所 平新報社
廣告料 一回五十字 二行
定額 五圓

×光線科
与田柳醫院
平南町 電話二一九番

日那退治論を讀む

天保錢

吾が主教授法學博士菊池武夫 衣服は、妻が箱の中か先生は昔中央大學の卒業式で取り出して来て揃へて置に於て、學長の資格を以て、其處へ着衣を捨て、着卒業生に告げたる演説中に着る、それも妻が後か此の論あり、其の論旨一寸は掛けて呉れる、若し洋服面白く感ぜられたり、今其でも着る者ならば、シャツの一部を縫に縫へむ。

且那といふ先生は定義するに自治の能力及意思なきズボン釣の世話より卸道者、と定むるは現在の且那皆手傳つて呉れる、帽子はなる名稱に適したるなるべし中働が塵を拂ふ妻が奉るしと論定せり、先生は且那靴は車夫が穿かして呉れるなる者の一日の行事に就き、ステッキは書生が捧げるる例證して曰はく、

先朝起きて身仕舞をするに迄も人力車に乗る等、僅か嗽の水より顔を洗ふ湯まで一人の且那様の外出のた皆誰かをして汲まして置め、血氣盛りの男女五六きたる物を使ひ、用水管の人を要する、古人の言に大餘を餘らして子供にもなし名は自分の背後に手が廻り得る事を決して自分にせ兼ね、と言へるが如く、自ず着替への衣服も座布團も分の體なるに其の始末を自又は煙草盆も食膳も自ら持分にたす能力なきものかつて來たり又は、其處に往又は意思なきかの如く振舞つたりはせず皆衣服布團煙盆のは是れ且那たる一要素草盆、食膳の方から、之をなすが如くなり、次には勞選ばせ己れは唯座して食せ務の蔑視なり、稼ぐ事は自むごし箸を自分で持て、己の品位にても關するが如口を動かすが、不思議位なし、自分の机の上の塵を拂り、或は不思議といはむよふが如きは勿論、鼻の下にも驚る感心とか奇特とかある煙草盆を取り寄せるに言はむか、而して若し此のも態々ベルを鳴らして忙し且那が外出せむとするや、立働いて居る女中が手を又甚しきは自分は九時十時と空く同一となるなり、家内中の大騒動を興す先づ洗ひ樽を取り出て來る者迄も朝寝して居て妻や女不經濟の甚しきものと稱すしてマダムにすら手を掛け少し散歩し來らむとの言あ

に命じ、手足を勞する事は中の朝掃除するのを八ヶ間何か賤しき事の如く考へ身敷く小言を云ふたり、外の心兩様の働きをなすは、自人は各極りを守らしめつ、分の威厳を損するが如く考へ且那たけは其の日によつてふ、是れ且那資格の第二の思ひ思ひに變じることが如く、要素なり、次は同情の欠乏の第四の要素なり、先づ且那も妻が始め其の他の家族の要素は是位にして余り合にも、且那だけは特別の掛けない様に止めむ、是れ菜あり、或は晩酌の時間を且那が家内に於ける有様なし。勝手に長引かせ居りつ、酒り、余之に就きて一言せむ以上菊池先生の論旨なり然し單に旅行せらる、時停車の品質數量に付懸無盡に、斯の如き且那は法律上の迷惑せしめて更に、妻君に經濟上より云へ之を云はむ、余は先生の食非すとも余輩には是れ菊池博士の思はず、唯自分一人快ければ斯の如き且那あるが爲め客たる事茲に滿五年(早稲際上野停車場迄)の輪の横は宣しいと言はむのみの海に血氣の男女四人を要すと田在京中)然れども余不幸附け珍しき事にあらず、然情にして思ひ遣りなく、甚せば、其の四人が且那一人にして本宅の食客たるに非るに先生は思ひ遣りなく、復の不安内なる時代の外決しきは自分は勝手に、料理の爲めに犠牲に供せられたりして辯護士事務所の支用しては決して人力車を用ひ屋で遊んで來て、一二時頃なるなら、若し此時間且那番たるなり、故に先生の起しめ、又入學當時學校往歸つて來て、明早起きが出た他の四人は他の生産的の仕し、只知れる一二節を述べ、且那の第一要素に缺けたり

同情心なし、是れ第三の他の四人の生産的活動は積一度たりとも居室に湯を取命するに御苦勞だが銀行迄要素なり次は規則に縛られりて國家を利すること大なるが如きを見ず、先生は來往つて來て貰ふと、敢へて嫌ふ、是れ我儘なるのかに存在するによりて、一國室も洋式を用ひ、食堂なりた故に反對に樂に使用して歸傲慢なるのか、即ち起床時の生産力の發達を害し今日故に布團を出さしむるなり、唯事をなす就床時、家族には定めぬの如き幼稚なる經濟社會に食堂に行きて食事をなす洋すに氣持よく働くのみ同じて置いても自分は夜更しを生存せざるべからざるなり、式なれば何等の珍しき事な一時間働きて氣持よく働したり、朝寝をしたり、又斯の如き且那が日本に多數し、煙草は口にせられざる、と悪く働くと悪く働くなら食事の時間も然り所要は辨ありとせば自分一人にてなを以て煙草盆の必要なし着は良く働くと非ずや時頭歸つて食事をなしたり、始めてなし遂ぐるに至るな筒を置いて自ら欲する洋服長引く事もなく食物の品定又妻君が其れ迄食事を待つり、即國民が五千萬ありとを着用して一々之を自分でなはば一度もせざる事なく何言はむか、而して若し此のも態々ベルを鳴らして忙し且那が外出せむとするや、立働いて居る女中が手を又甚しきは自分は九時十時と空く同一となるなり、は一切和服を着用せず)而出動ありて、掃除前ならば家内中の大騒動を興す先づ洗ひ樽を取り出て來る者迄も朝寝して居て妻や女不經濟の甚しきものと稱すしてマダムにすら手を掛け少し散歩し來らむとの言あ

新製品
ヨット安全剃刀
研器兼用
皮砥付

平町五丁目
釜屋商店
電話九番 九九番

度量衡販賣
液體空氣會社製
酸素含有量(百分中)
(東京工業試驗所證明)

吸入用酸素、酸素吸入器
體温器、寒暖計、開内藥局

警城セメント代理店
西村屋藥舖
平町二丁目
電話三番

石城郡農會

分場其會存置に動く

石城郡農會では、昨六月午前、拾時より平町同會事務所にて會長諸橋久太郎氏副會長菅野昇氏他評議員等會合し、目下問題となりつゝある農試分場廢止、郡農會廢止等存置運動につき善後策を協議する由である。

劍道會

廿四日平商で

加藤丈夫氏を會長とする、平商劍道會は例年の通り来る二十四日午前九時より、平商業學校演武場に大會を開催するが優勝旗争奪、優勝刀獲得は頗る熱度を加ふべく今より期待されてゐる。因みに同會では過般の役員會にて副會長小野寛美氏再選他幹部はそれぞれ會長より指名再任及補充があつた。

赤津君

満洲守備隊へ

平町一丁目赤津人力車立場赤津重美氏は今回満洲獨立守備隊へ入營する事になり来る二十二日出發の由で時節柄光榮とされてゐる。



農家收穫の季益々天朗らかにし、乾燥良しきを得た。さしめたるこの降雨米ではどうにもならず税金は従前通り農家のみ

と町當局、町議諸君は、洗れた平町菊花大會は同町南嘆しつゝある事であらふ町一丁目裏通り堀岸に見事に陳列され加ひて雪洞を以つて夜間の美を添へ見物人明治節にあやかりて開催が非常に多い。

移轉御通知

謹啓今般都合に依り左記の處に轉居致しました

平町一丁目六番地
「起市屋」荒物店裏
平新報社
山野邊庄吉

山野邊庄吉

平町田町

高久病院

電話五二三番

内科、小兒科、皮膚科、泌尿科
平町、船屋町
電話五〇七番

諸橋敬一郎

新築移轉 (縣社前通り)

内科、小兒科、花柳病科
矢吹醫院
電話二六六番

平製氷株式會社

平町南町 電話一一番
建築材料商 野内建材商店

カフエト 蝶々

平南町貳拾番地 大畑鈴一郎

平町五丁目
院長志賀與市
志賀齒科醫院

平町磐城建物會社

平町番匠町
堀江正茂

平町藝妓屋組合

湯本町
高濱兼義

湯本町
金令樹梅威

湯本町
村上六平

湯本町
鯨岡久一郎

草野村前
渡邊商店

上遠野村
村會議員 小澤貞久

冬の洋服

御召替の節となりました。皆様御氣に召す品を豊富に取揃ひて御座します。

細目サージ背廣 ¥12.00
ウラスデット背廣 ¥11.00
黒サージ立襟上下 ¥5.30
オーバ ¥4.50

あかや洋服店 平二 電話 203

中野吳服店

平町三丁目 電話六十七番

混砂搗白米販賣禁止 (滋賀縣下)
山野邊無砂搗精米所
電話三二八番

輕費診療 (院案)

郡内廿四ヶ町村の囑託により輕費診療をなすつゝありませう

診療科目 内科、小兒科、外科、性病科、皮膚科、産婦人科、物理療法科、耳鼻咽喉科、X光線科

診察料 共濟會員 無
藥價 一日分 共濟會員 五
入院料 一日分 共濟會員 十
本院主幹 賀澤忠治

衛生試験 醫學化學的検査は何でも致し
公休日 是日 廢止
尚御不明ノ點ハ各町村長並ニ本院ニテ御遠慮ナク御座キ下サイ

平町共濟會 電話四六一番